

## 事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

本年度は新財団への移行と音楽振興部門の事業が開始され、新体制の中で各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業に取り組んで参りました。

研究助成事業は、サウンド技術振興部門に54件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は21件の応募がありその中から6件に助成金を交付致しました。

音楽普及支援等事業は、本年度助成テーマから1件を選んでレクチャー・コンサートを開催いたしました。

講演会等事業は、本年度助成テーマから1件を選んで講演会を開催致しました。

機関誌「サウンド」は、第27号を発刊し、本年度助成対象者から5名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めました。

以下、事業結果をご報告申し上げます。

### 1. 研究助成事業

#### 1) 平成23年度研究助成

平成22年12月より平成23年2月26日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の試験研究機関及び過去の助成申請者等550件余へ機関誌「サウンド」第26号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は28の大学等研究機関より54件にのぼる応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月10日の審査委員会にて10件を選定した。音楽振興部門は17の大学等研究機関より21件にのぼる応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月11日の審査委員会にて6件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成23年5月23日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成金対象者は次の通りである。(所属・役職は申請当時)

【サウンド技術振興部門】

- (1) 超音波浮揚を利用した精密異相分離技術の開発 (PULSの開発)  
名古屋大学 大学院 工学研究科 講師 出口 清一
- (2) 周波数除去音楽を用いた耳鳴の治療  
自然科学研究機構 生理学研究所 特任准教授 岡本 秀彦
- (3) 聴覚-視覚間プライミングに伴う脳波変化を利用した視覚環境に調和した音の検出システムの開発  
鹿児島大学 理工学研究科 教授 王 鋼
- (4) 脳磁界計測を用いた最適サイン音に関する研究  
産業技術総合研究所 健康工学研究部門 研究員 添田 喜治
- (5) 福祉工学への応用を目指したヒトの聴覚情報における共鳴現象の基礎的検討  
東京電機大学 理工学部 電子・機械工学系 助教 田中 慶太
- (6) 微小ヘルムホルツ共鳴を利用したMEMSマイクロフォン  
東京大学 大学院 情報理工学系研究科  
日学振興特別研究員 高橋 英俊
- (7) グラスハーブに関する研究  
国際基督教大学 人文科学科(音楽) 非常勤講師 田村 治美
- (8) 芸術音楽の録音における音楽情報伝達に関する研究  
明星大学 理工学部 総合理工学科 教授 亀井 延明
- (9) 乳幼児期の喃語における音声生成発達の過程: 日本語圏・英語圏の比較  
九州大学 芸術工学研究院 教授 中島 祥好
- (10) 声帯振動の面から音声疲労と健康な音声の維持に関する考察  
国際医療福祉大学 山王病院 講師 木村美和子

## 【音楽振興部門】

- (1) アウトリーチ活動におけるインターアクティブ・パフォーマンスの研究  
と演奏実践  
国立音楽大学 ピアノ講師 大類 朋美
- (2) フーゴ・ヴォルフの書簡研究 - 音楽に対する考え方と創作状況  
鹿児島大学 教育学部 准教授 梅林 郁子
- (3) ピアノとライブ・コンピュータシステムの為の作品創作、及びその初演  
ランカスター大学 芸術社会科学学部 現代アート 研究所  
准教授 菜 孝之
- (4) インタラクティブ採譜方法による声明とご詠歌の装飾音の研究  
日本大学 芸術学部 非常勤講師 ドライヤー・フベルトス
- (5) アメリカおよびイギリスの作曲家による芸術作品の研究と演奏  
東京芸術大学 音楽学部 声楽科 非常勤講師 辻 由美
- (6) 大澤壽人作曲作品録音プロジェクト  
神戸女学院大学 音楽学部 非常勤講師 生島美紀子

## 2) 助成研究成果報告概要の配信

平成22年度助成対象者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

## 3) 平成24年度研究助成募集活動

平成23年12月より平成24年2月29日を締切日とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

## 2. 音楽普及支援等事業

### 1) レクチャー・コンサート 開催

名 称 第1回音楽普及支援等事業

期 日 平成23年10月1日(土)

会 場 東京芸術大学 音楽学部 練習ホール館 第1ホール

参加者 約100名

演 題 平成23年度音楽振興部門研究助成対象より

「アーロン・コープランド作曲「エミリー・ディキンソンの12の詩」」  
～ アメリカ音楽の発展と共に ～

国立音楽大学・東京芸術大学講師 二期会会員 ソプラノ 佐竹(辻) 由美氏  
(助演) 東京芸術大学 准教授 ピアノ 江口 玲氏

### 3. 講演会等事業

#### 1) 講演会開催

名 称 第23回研究助成講演会  
後 援 浜松市、浜松商工会議所  
期 日 平成24年2月23日(木)  
会 場 株式会社河合楽器製作所本社10号館2F 第1～3研修室  
参加者 約90名  
演 題 平成23年度サウンド技術振興部門研究助成対象より  
「藝術音楽の録音における音楽情報伝達に関する研究」  
明星大学 理工学部 総合理工学科 機械工学系 教授 亀井延明氏  
(共同研究者)  
東海大学・昭和音楽大学・沖縄県立芸術大学・埼玉工業大学  
兼任講師 鈴木和秀氏  
(共同研究者)  
東海大学・開成学園 非常勤講師 上野大輔氏

### 4. 情報の提供等事業

平成23年度研究助成対象者である自然科学研究機構 特任准教授 岡本秀彦氏、産業技術総合研究所 研究員 添田喜治氏、九州大学院 教授 中島祥好氏ほか4名、ランカスター大学 准教授 菜孝之氏、神戸女学院大学 非常勤講師 生島美紀子氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第27号を編集し、平成24年1月に発行。大学等関係機関、図書館、過去の助成申請者等700件に配布した。

### 5. 評議員会・理事会の開催

#### 1) 第1回評議員会・第1回理事会

##### (1) 期日及び場所

平成23年5月23日(月) 東京ガーデンパレス

##### (2) 附議事項

第1号議案 平成22年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件  
第2号議案 平成23年度収支予算の修正に関する件  
第3号議案 業務執行理事の選定に関する件  
第4号議案 監事の選任に関する件  
第5号議案 事務局長及び職員の選任に関する件  
第6号議案 参与の選定に関する件  
第7号議案 議事録署名人の選任に関する件

### (3) 議事進行要約

- ①第1号から第6号議案については、事務局が逐条説明を行い、評議員会・理事会各々異議なく全会一致で承認可決された。
- ②第7号議案については、議長が説明を行い、評議員会・理事会各々異議なく全会一致で承認可決された。  
評議員会 花田 修治氏 村上陽一郎氏  
理事会 小野修一郎氏 鷲津 有一氏  
なお、この折り平成23年度研究助成金の贈呈式、新財団発足式を併催した。

## 2) 第2回理事会

### (1) 期日及び場所

平成24年3月19日(月) 東京ガーデンパレス

### (2) 附議事項

- 第1号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件
- 第2号議案 議事録署名人の選任に関する件

### (3) 議事進行要約

- ①第1号議案については、事務局が逐条説明を行い異議なく全会一致で可決された。
- ②第2号議案については、議長が説明を行い異議なく全会一致で可決された。  
議事録署名人 鷲津 有一氏 河崎 哲男氏

## 6. 庶務事項

### 1) 内閣府への提出書類

#### (1) 公益目的財産額の確定に係る必要書類(公益目的財産額の算定と公益目的支出計画等)

添付書類は下記の通りである。

- ①時価の算定根拠を明らかにする資料
- ②算定日(移行の登記の前日 平成23年3月31日)における貸借対照表及び付属明細書
- ③第1回理事会議事録
- ④第1回評議員会議事録

## 2)内閣府からの受領書類

- (1)平成23年7月12日付で「公益目的財産額の確定について(通知)」書類を受け取る。

## 3)その他

- (1)東日本大震災で被災された花田評議員へお見舞い金5万円を贈呈した。
- (2)東日本大震災で被災した研究者、研究機関へ研究支援金として、東北3県の研究助成応募者の中から岩手大学 西山 清教授、東北大学 谷内一彦教授、東北大学 祖山 均教授へ各30万円を贈呈した。
- (3)寄附金として、平成24年2月17日に株式会社木伏電気工業所より2万円、平成24年1月19日に武田高太郎氏より3,500円を受理した。